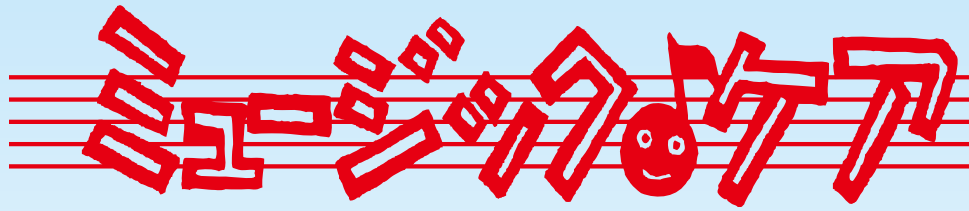


だれでも どこでも いつでも 楽しめる 音楽療法



第27回 全国セミナー [滋賀]

日時 2024年8月24日(土)~26日(月)

会場 琵琶湖ホテル 滋賀県大津市浜町2-40

～ 変わりゆく時代 ～

今こそ ミュージック・ケアに出会う時

主催

NPO法人 日本ミュージック・ケア協会

共催

加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所

滋賀・京都ミュージック・ケア研究会

後援 (申請中)

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会

特定非営利活動法人 おもちゃの図書館全国連絡会

日本デイケア学会

公益社団法人 日本認知症グループホーム協会

滋賀県/大津市

滋賀県社会福祉協議会

大津市社会福祉協議会

ライオンズクラブ国際協会・京都北ライオンズクラブ

団体所在地 及び 連絡先

NPO法人 日本ミュージック・ケア協会

〒922-0554 石川県加賀市橋立町ふ23 TEL / FAX 0761-75-2917

<https://www.music-care.net> E-mail info@music-care.net





～ 変わりゆく時代 ～

今こそ ミュージック・ケアに出会う時

第27回 全国セミナー [滋賀]

日時 2024年8月24日(土)～26日(月)

会場 琵琶湖ホテル 滋賀県大津市浜町2-40

大会長: 伊藤 美恵

日本ミュージック・ケア協会副理事長 認定指導者



会員限定

1日目 8月24日(土)

どなたでも参加できます

2日目 8月25日(日)

会員限定

3日目 8月26日(月)

9:00	受付
10:00	開会式 ★ミュージック・ケア 理論/実技 I 『さあ! みんなで ミュージック・ケアを楽しみましょう!』 宮本 啓子
12:00	昼・食
13:00	★講演 蜂谷 俊隆 『糸賀一雄の生涯と思想から何を学ぶか』
14:00	★ポスター発表 論文委員会 【事例報告】
16:00	★ミュージック・ケア 理論/実技 II 『ミュージック・ケアは音楽を 鑑賞するための道具も使うよ!』 宮本 啓子
18:00	総会
20:00	企画 実践開発委員会 『みーつけた♪ ～こんな曲・こんな楽器 使えるかな～』
21:00	

9:00	受付
10:00	オープニング・開会式 ★ミュージック・ケア 理論/実技 『ミュージック・ケアの理論は出会いの中で!』 宮本 啓子
12:00	昼・食
13:00	★基調講演 伊藤 美恵 『みんなで一緒に楽しもう! ～ミュージック・ケアで今を共に生きる～』
15:00	ワークショップ I 1 親子で楽しもう 2 音楽の魅力で、美しく元気に 3 よく知っている曲を有効に使う 4 無限の応用は基本曲から
17:00	ワークショップ II 1 乳幼児とのやりとりを楽しむ 2 フレイル予防高齢者 歳を重ねた人々と共に楽しむ 3 人をひきつける魅せる動き
19:00	レセプション 懇親・交流会 別途申込 必要
21:00	

9:00	受付
10:00	★全体発表 【研究発表】 コメンテーター 西島 千尋・宮本 啓子
11:00	★定期講演 佐藤 俊一 『グループと私たち ～不自由から自由になるという必然性』
12:00	昼・食
13:00	★ミュージック・ケア たしかめあい ふかめあい 『だれでもどこでもいつでも楽しめるミュージック・ケア』 ミュージック・ケア理論/実技/応用を楽しむ 宮本 啓子
15:00	閉会式
21:00	

●日程および内容は変更になる場合があります





お誘い

だれでも・どこでも・いつでも 差別のない支援を求めて

NPO法人日本ミュージック・ケア協会
理事長 宮本啓子

第27回日本ミュージック・ケア協会全国セミナーを「この子らを世の光に」という日本の福祉の原点のような言葉を語られた、糸賀一雄先生の創設した近江学園やびわこ学園があるこの滋賀県の地で、開催することができ、心から嬉しく思います。

また、ミュージック・ケアは、故加賀谷哲郎先生が開発したメソッドを基本にその方法と理論を作り上げてきましたが、実は加賀谷先生は糸賀一雄先生などと同じ時代に活躍され、一緒に「磁場」という雑誌をつくり、この子らを取り巻く社会の渦を作り出そうとしていました。そして、貧困や障がいのための差別がなく、どんな子どもたちも発達を保証されるために、音楽が有効に働くと考え「だれでも・どこでも・いつでも」同じステージで楽しめるミュージック・ケアの基本メソッドを開発していったのです。

さらに、今回はその糸賀一雄先生の師にあたる木村素衛先生(元京都大学教授・長野県教育界に影響)の存在に出会い、「表現愛」という考え方を知り、蜂谷俊隆先生に『糸賀一雄の生涯と思想から何を学ぶか』と題してご講演いただけることになりました。不思議なご縁であり、繋がりにあっている基本理念に驚いています。どうしても多くの方々にこの心を知っていただきたいと願っています。

ミュージック・ケアは音楽の特性を活用して関係性の発見と改善を行い、自らが生きようとする力、成長しようとする力を回復・醸成することを目的としています。結果、発達支援・機能回復支援・言葉の誘発・認知機能の支援などはもちろん、重症心身障がい、発達障がい、認知症予防、フレイル予防など多方面のアプローチが可能であります。そこには奇跡のような効果も見ることが多々あり、裏づけとなる理論も整理されてきました。

また、ミュージック・ケアは音楽の力を活用し、「あるがまま・共にいること・生きること」「ダメとは言わない・無理やりさせない・したくなるまで待つ」などかわり方を大切にすることで、安心して居る関係性と場を醸し出し、春のように人間本来の生命力を芽吹かせることだと考えています。

人間の尊厳の原点が忘れ去られそうな今だからこそ、福祉や教育や保育や介護等の命に係わる現場の中で、ミュージック・ケアを学び実践していただけることを願っています。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1日目 8月24日(土)

会員限定



“ミュージック・ケアの魂に触れる”

開会式 10:00～



ミュージック・ケア 理論／実技 I ——— 10:00～12:00

『さあ！みんなでミュージック・ケアを楽しみましょう！』

- ① だれでも どこでも いつでも 同じステージで楽しめる！
人は集団の中でこそ成長する
- ② あるがまま 共にいること 生きること
かかわり方の基本。安心のできる関係性の発見と場
- ③ 技術じゃないよ 心だよ
音楽技術を学ぶところではありません。心がワクワクするのです
- ④ ダメとは言わない 無理やりさせない したくなるまで待つ
自ら生きようとする力、成長しようとする力を醸成・回復する
- ⑤ そして、表現愛！
人間の心は身体に現れる！
- ⑥ さあ！基本曲を学びましょう！楽しみましょう！

宮本 啓子 日本ミュージック・ケア協会理事長
日本音楽療法学会認定音楽療法士
同学会信越・北陸支部副支部長

1984年より加賀谷式集団音楽療法全国夏期セミナー実技・理論講師を務める。1996年に宮本啓子音楽療法研究所(現:加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所)を設立。1997年に日本ミュージック・ケア協会を設立。以降、毎年全国セミナーを開催。2000年より台湾にてミュージック・ケアの普及活動に務める。2007年より隔年ごとに台湾全国セミナーを開催。2004年10月と2006年2月、コロラド州立大学にて神経学的音楽療法を学ぶ。2021年第21回日本音楽療法学会学術大会にて大会長を務める。

講演 ——— 13:00～14:30

『糸賀一雄の生涯と思想から何を学ぶか』

蜂谷 俊隆 美作大学生活科学部教授、博士(人間福祉)

- ・研究分野:社会福祉学(社会福祉史)
- ・著書:『糸賀一雄の研究』(関西学院大学出版会、2015)
『福祉にとっての歴史 歴史にとっての福祉』(ミネルヴァ書房、2017)* 共編著



ポスター発表 ——— 14:45～15:45

【事例報告】

論文委員会 日本ミュージック・ケア協会委員会



ミュージック・ケア 理論／実技 II ——— 16:00～17:30

『ミュージック・ケアは音楽を鑑賞するための道具も使うよ！』

宮本 啓子 日本ミュージック・ケア協会理事長、日本音楽療法学会認定音楽療法士、同学会信越・北陸支部副支部長

総会 17:45～18:15

企画

『みつけた♪ ～こんな曲・こんな楽器 使えるかな～』 19:30～21:00

実践開発委員会 日本ミュージック・ケア協会委員会

2日目 8月25日(日)

どなたでも参加できます

“ミュージック・ケアの楽しさを知ってほしい!”

オープニング・開会式 9:30~

ミュージック・ケア 理論／実技 10:00~12:00

『ミュージック・ケアの理論は出会いの中で!』

- 1 名称の由来
- 2 研修制度の開発
- 3 理論の裏づけ
- 4 基本曲の発達の意味を考える

宮本 啓子

日本ミュージック・ケア協会理事長
日本音楽療法学会認定音楽療法士
同学会信越・北陸支部副支部長



基調講演 13:00~14:30

『みんなで一緒に楽しもう! ~ミュージック・ケアで今を共に生きる~』

伊藤 美恵 大会長:日本ミュージック・ケア協会 副理事長・認定指導者

一社)日本音楽療法学会 理事・認定音楽療法士、同近畿支部支部長、NPO法人こらぼねっと京都 理事長・統括施設長
障がいのある子どもから大人までの支援に継続して取り組む事業を行い、障がい者施設や保育所だけでなく、障がい児・者のグループや子育て支援の事業でもミュージック・ケアのセッションをスタッフと共に多数行っている。

ワークショップ I 15:00~16:30

日本ミュージック・ケア協会 認定指導者

1 親子で楽しもう

江戸 晶子 島根県

元島根県職員、保育士(知的障がい児施設、児童相談所勤務)。
障がい児居住型施設在職中、平成8年度に加賀谷メソッド(ミュージック・ケア)講習受講。本格的にミュージック・ケアに取り組むため平成16年に早期退職し現在に至る。宮本啓子氏に師事して約28年、子育て支援、障がい児・者(知的、身体、精神)、高齢者施設などで定期的に実践を続けている。

平 美江 新潟県

わたげの会研究会所属
38年間、保育士として障がい児の親子支援や乳幼児養護、教育に携わる。現在、老人施設、保育園、障がい児者施設や子育て支援、地域コミュニティなど福祉施設においてミュージック・ケアを実践している。



2 音楽の魅力で、美しく元気に

松浦 千賀 石川県

東京学芸大学在学中より音楽療法の研鑽を積み、加賀谷氏没後、宮本啓子氏に学ぶ。石川県立特別支援学校教諭として、小・中・高等部の児童生徒、病院内分教室、在宅の児童生徒とミュージック・ケアを実践し、重度の障がい児と親の会「こぐまの会」で25年以上継続して実践をしている。ピアノを杉谷昭子氏他、音楽を島村泰子氏他に、伴奏法をマインハルト・プリンツ氏に師事。ミュージック・ケア全国セミナーでワークショップ、ピアノを担当し、オリジナルCDのピアノ、歌を担当した。日本音楽療法学会信越・北陸支部幹事、学会認定音楽療法士

新海 陽子 山梨県

6歳から電子オルガンを始め、学生時代はパーカッション、合唱と音楽を多岐にわたって学び、音楽の持つ感動や喜びに魅了される。人とふれ合う福祉の道に進み、障がい児・者施設、高齢者施設にて勤務。現在は、乳幼児から高齢者まで幅広く実践を行いながら、生活支援センターに勤務。障がい者のピアノ講師も行っている。



3 よく知っている曲を有効に使う

下村 泰斗 福岡県

精神科医、音楽療法士、ピアニスト。
4歳よりピアノをはじめ。これまでに村瀬久美子、藤井浩子、杉谷昭子、楠本隆一、小原久幸、尾見林太郎各氏に師事。ピアニストを志して挑んだ芸術高校受験に失敗して、一度は断念せざるを得なくなり、将来について長く葛藤し、激しい反抗期が続いた。その経験から、児童青年期の心を支えることを使命とし、親子関係の問題・不登校・発達障害などによる生きづらさに悩む人達に日々向き合っている。現在、昭和町クリニック院長、精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医、日本音楽療法学会認定音楽療法士、一般財団法人 杉谷昭子ピアノアカデミー理事。

松山 智恵 福井県

『子育てステーション・わんぱくクラブ』主宰
認定こども園非常勤保育士
保育園勤務を経て、自身の子育てでストレス経験から、子育て支援活動に取り組み31年、そこにミュージック・ケアを導入して25年になる。現在は、依頼に応じて、赤ちゃんから大人まで様々な対象者にミュージック・ケアを実践している。



4 無限の応用は基本曲から（基本を深める）

桶川 千枝 石川県

加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所主任研究員
大阪府出身。奈良県にある知的障がい児入所施設にて保育士として12年間勤める。その後、加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所短期集中研修生を経て現在に至る。現在、石川県加賀市を中心に乳幼児から高齢者まで幅広い対象者に実践活動を行なっている。

浦川 暁美 大阪府

広島県尾道市因島出身。大阪府を中心に、障がい者・ダウン症・こども園(療育)・放課後等デイサービス・子育て支援(赤ちゃん・未就園児)・遷延性意識障がい・介護予防・認知症高齢者・難病患者の会・婦人会交流会などの実践を年間を通して行っている。会社勤めとミュージック・ケアと、どちらも行うスタイルを24年間続けている。

ワークショップⅡ

16:45~18:15

日本ミュージック・ケア協会 認定指導者

1 乳幼児とのやりとりを楽しむ

畑 佳美 福井県

保育士・幼稚園教諭・(一社)全国病児保育協議会認定病児保育専門士
福井市にある新田塚医療福祉センター内の保育園に11年、療育外来に8年、病児保育に19年勤務し、今年の3月に退職しました。療育外来時代に宮本先生のミュージック・ケアに出会い、「私もミュージック・ケアをしたい!」と初級研修を受講し、24年が経ちました。



2 フレイル予防高齢者 歳を重ねた人々と共に楽しむ

吉田 茂樹 石川県

日本ミュージック・ケア協会事務局長・日本音楽療法学会認定音楽療法士、社会福祉士・主任介護支援専門員・准看護師・認知症キャラバンメイト 他
居宅介護支援事業所ファミール所長、安宅・板津高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)センター長補佐
小松准看護学院、金沢医科大学なないろビーンズ(ダウン症児グループ)、子育て支援、こども園、介護予防や認知症予防等の講座や実践している。

3 人をひきつける魅せる動き

加藤 善之 富山県

8歳より松岡ジャズバレエ研究所にて、タップダンスから、ダンスの世界に入る。その後、ジャズ、モダンバレエ、ストリートダンスとジャンルを広げる。TRFや浜崎あゆみのバックアップダンサーや、イベント、舞台に多数出演。CM商品イメージソングやテーマパークキャラクターダンスなどの振り付けも行う。ダンスインストラクター活動も多くなし、小・中学校の体育の授業でダンスを受け持つなど、現在に至る。



レセプション 19:00~21:00 懇親・交流会

別途申込
必要

3日目 8月26日(月)

会員限定

“ミュージック・ケアの翼によって、明日に飛躍しよう！”

全体発表

9:30~10:30



【研究発表】

コメンテーター

西島 千尋 金沢大学人間社会研究域 講師

富山県生まれ 博士(学術)

主著に『クラシック音楽は、なぜ(鑑賞)されるのか—近代日本と西洋音楽の受容』(新曜社、2010)、共著に『学校音楽文化論：人・モノ・制度の諸相からコンテクストを探る』(東信堂、2024)や『よくわかる音楽教育学』(ミネルヴァ書房、2023)、共訳に『ミュージッキング—音楽は(行為)である』(クリストファー・スモール著、水声社、2011)などがある。2021年に上梓された『音楽の未明からの思考—ミュージッキングを超えて』(アルテスパブリッシング、2021)ではフィールドワーク調査をもとに音楽療法についてまとめている。

宮本 啓子 日本ミュージック・ケア協会理事長、日本音楽療法学会認定音楽療法士、同学会信越・北陸支部副支部長



定期講演

10:45~12:15

『グループと私たち—不自由から自由になるという必然性』



佐藤 俊一 NPO法人スピリチュアルケア研究会ちば 理事長、日本ソーシャルワーク学会 理事

約30年に亘って大学においてソーシャルワーカーを主として、対人支援職の「人にかかわる力」を身につける教育と研究に従事。現在は、退職して実践力を向上させるための研修として、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、看護職などの対人支援職のスーパービジョン、グループ臨床を行っている。その学問的な基盤は現象学であり、大切にしていることはスピリチュアリティ、目指すことは生の覚醒である。

身近なところでの家族、さらに学校や職場、地域において、私たちはグループとしてかかわり生活をしている。グループ活動に参加することで、自分の居場所を確保できる。個々が自由に生きるためには、まずグループや組織に所属することが必要であり、それを当然のことだと考えている。

他方で、今日の日本社会において、制度や政治的に自由であることは誰もが承知している。グループや組織に参加して義務を果たすことで、権利としての自由を手に入れることが保障される。多くの人たちが疑問をもちに行っていることなのだが、それだけが、あるいはそれが本当の自由なのだろうか。

社会的な束縛や制約から解放されることだけでなく、私たちは、自身が自由であるということを実感しているのだろうか。与えられた自由ではなく、積極的な自由とは、他者やグループとの新たな関係を創造できることである。自分が新たに生まれるという体験であり、また生まれ続けるということにもなる。私が自由であると感じ、生きられる瞬間である。ミュージック・ケアをグループで実践する時に感じてもらえる嬉しい。

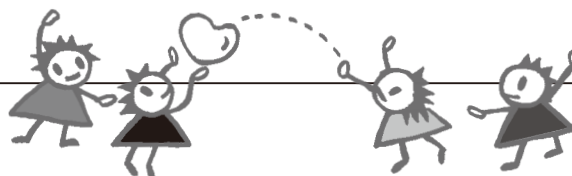
ミュージック・ケア たしかめあい ふかめあい — 13:15~14:45

『だれでも どこでも いつでも 楽しめる ミュージック・ケア』

ミュージック・ケア理論／実技／応用を楽しむ

宮本 啓子 日本ミュージック・ケア協会理事長 他、日本ミュージック・ケア協会 認定指導者

閉会式 14:45~15:00





だれでも どこでも いつでも 楽しめる 音楽療法



ミュージック・ケアとは

情緒の安定と発達、身体的機能の維持改善の為に必要な刺激や運動にあわせて、考案されたメソッドを使って行われる音楽療法の一つである。この方法は故加賀谷哲郎先生(日本音楽療法協会を設立・1983年没)が創案されたメソッドを基本に、その方法と理論を宮本啓子と日本ミュージック・ケア協会が体系化したものである

ミュージック・ケアの定義

音楽の特性の一部を利用して、その人がその人らしく生きるための援助をすることであり、子どもの場合はその子どもの持っている力を最大限に発揮させ、発達の援助を行うことである

ミュージック・ケアのねらい

音楽の特性を生かして、対象者の心身に快い刺激を与え、対人的な関係の質を向上させ、情緒の回復や安定を図る。さらに、運動感覚や知的機能の改善を促し、対象者の心身と生活に好ましい変化を与える

ミュージック・ケアの主な効果

関係性の発見と改善、コミュニケーション、情緒の安定、不安行動の軽減、自己コントロール、身体機能の促進、発達の促進、リラクゼーション、生きがい、集団参加の促進、注意集中力、リハビリ、介護予防

あなたも実践できます! [参加対象者]

- 老人保健施設、特別養護老人ホーム、デイサービス等の老人福祉施設職員
- 理学療法士、作業療法士、医師、看護師、保健師等の医療関係職員
- 知的障がい・自閉症・言語障がい・脳性マヒ等の児童・成人福祉施設職員
- 音楽指導者、音楽療法士等の音楽関係者
- 特別支援学校教員、特殊教育教員、幼稚園教諭、保育士等の教育関係職員
- その他、ミュージック・ケアに興味のある方(本人、家族、ボランティア活動希望等)

参加申し込みは ホームページ (下記QRコード)よりお願いいたします

- ホームページから参加申込をしていただき、参加区分をお選びください
- 昼食・夕食弁当等の有無をご回答ください
- 参加費と弁当代金(申込者)・レセプション参加費(申込者)を振込先まで ご送金ください

◎ 申込期限 8月10日(土)まで

◎ 振込先 郵便局

口座番号: 00770-2-75467
口座名義: 日本ミュージック・ケア協会 全国セミナー



◎ キャンセル・返金について

- 8月10日(土)までは、手数料2,000円+振込手数料を引いて返金いたします
- 8月11日(日)からは、返金できません。ご了承ください

注意事項

- ◇ 宿泊は各自で手配をお願いします
- ◇ 会場内への飲食物の持ち込みは制限があります。弁当を注文いただくか、飲食店をご利用ください
- ◇ 直接会場への問い合わせはご遠慮ください
- ◇ 振込先はお間違えの無いよう、充分ご注意ください
- ◇ 申し込み後1週間以内に入金確認ができない場合は、キャンセルとさせていただきます
- ◇ やむを得ない事情で送金が遅れる場合は、事前にご連絡ください
- ◇ 質問等お問い合わせは、NPO法人日本ミュージック・ケア協会「加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所」までお願いします

参加費

すべて税込み価格です

【1日参加】

24日(会員のみ)	8,000円
25日(一般も可)	9,000円
26日(会員のみ)	8,000円

【2日参加】

24日・25日(会員のみ)	15,000円
25日・26日(会員のみ)	15,000円

【3日参加】

24日~26日(会員のみ)	19,000円
---------------	---------

昼食弁当 24日・25日・26日 1,200円

夕食弁当 24日 2,500円

レセプション 25日 10,000円

お申し込み
問い合わせ先

NPO法人
日本ミュージック・ケア協会
加佐ノ岬倶楽部音楽療法研究所

〒922-0554
石川県加賀市橋立町ふ23
TEL/FAX 0761-75-2917
https://www.music-care.net
E-mail info@music-care.net

